

献辞

村田省三教授は、1985年に九州大学大学院経済学研究科博士後期課程を満期退学後、九州産業大学経営学部でのご勤務を経て、1994年に長崎大学経済学部にご着任され、2016年3月にご定年を迎えられました。長崎大学は、村田先生の在任中の業績を讃え、長崎大学名誉教授の称号を授与しました。

先生は、長年にわたり、学部及び研究科（博士前期課程・後期課程）において、ミクロ経済学、経済学、ゲーム理論特論及びゼミなどの教育をご担当されたほか、教養教育科目も長年にわたって担当されました。特に、本学部の教育の基盤となるミクロ経済学は、本学部の学生全員が履修したといっても過言ではありません。学部ゼミ生や大学院生の研究指導にも大変力を注いでおりましたが、これとは別に、公務員志望の学生のために、貴重な研究時間を割いて、公務員試験のための勉強会を開催して、こまめに指導をされておられる姿を、私は学内で何度も見る機会がありました。

研究面では、先生は、一貫してゲーム理論についてご研究され、多くの著書や論文を発表されておられます。特に、わが国における経済学研究におけるゲーム理論導入草創期に、Eric Rasmusen教授が執筆された“Games and Information”を、『ゲームと情報の経済分析』（九州大学出版会）として共訳出版されておられます。本書は今でもゲーム理論の研究者の参考文献です。学会における研究報告に対する討論者の依頼の多さ、日本応用経済学会や日本経済政策学会の理事を歴任されたことは、先生のこれまでの研究が高く評価されていることの現れといえるでしょう。

また組織運営面では、情報化推進委員会委員長や講座主任等の学部運営にも貢献されましたが、先生の大きな貢献は研究科の運営にあるでしょう。先生には、定年直前まで、研究科運営委員を務めていただきま

した。主な業務は、研究科の教務や入試でした。そしてこれらを通じて、博士後期課程の学生の研究報告の活性化にもつなげていただきました。

村田先生は、長年にわたり本学部の教育、研究等に多大な貢献をされてきました。ここに、教職員を代表して改めて感謝申し上げるとともに、今後のご健勝とご活躍を祈念して、献辞とさせていただきます。

2016年8月

長崎大学経済学会長

長崎大学経済学部長

岡 田 裕 正



村田省三教授